

かさまっ子

題字：夏休み作品コンクール 書写毛筆の部 笠間市長賞受賞 藤井 凌平さん

第3号

子ども会会員数
(平成25年3月末現在)：4,363人

平成25年4月

編集・発行

笠間市子ども会育成連合会

事務局

笠間市教育委員会 生涯学習課内

〒309-1792 笠間市中央三丁目2番1号

TEL.0296-77-1101

(笠間地域) TEL.0299-37-6611

FAX.0296-71-3220



地域で育てる子ども会



会長
町田 満

日頃より子ども会育成連合会活動に對しまして、育成会会員の皆様には多大なご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

近年、少子高齢化や核家族化また地域社会における人間関係の希薄化などにより、社会環境が急激に変化する中で、子どもたちが様々な体験や人とふれあう機会が減少してきており、子どもたちに自主性や社会性が育ちにくくなっていることが懸念されます。

このような状況の中で「子どもは地域で育つ」を基本に、子どもたちに様々な体験活動の場を提供することにより、生きる力や社会性をはぐくみ、生き抜く力を育てたいという強い思いがあります。

子ども会は、活動を通して地域がその絆を深め、地域全体で子どもを支えることが大切と考えております。

役員による特別委員会を広報、危機管理に次いで平成二十四年から企画育成指導委員会を立ち上げました。

次代を担う子どもたちのために地域の皆さんのなお一層のご協力を宜しくお願い致します。

笠間市・矢板市 子ども会交流会

6/3
(日)

笠間市・矢板市交流会に参加して

北川根支部 佐久間 淳子

笠間市と矢板市の子どもたちとの交流会はその昔、矢板市（川崎城）のお殿様「塩谷朝葉」と笠間市のお殿様「笠間時朝」が親子であったことから昭和55年7月に姉妹都市の関係をつなぐことで、毎年交互に交流をしています。

今年は、笠間市の子どもたちが矢板市に行き、尚仁沢ハイキングと県民の森で木工製作「コースターづくり」をしてきました。

私も、このような経験は初めてで、尚仁沢の湧き水や森の木々など、自然の恵みに感動しました。またチャンスがあれば、行って見たいと思いました。

子どもたちとふれ合いながら本当に楽しかった！の一言です。



第6回

夏休み作品コンクール

平成24年度夏休み作品コンクールは、応募総数482点の力作が寄せられました。

（絵画の部52点、毛筆の部209点、硬筆の部202点、親子共同作品の部19点）

9月6日応募作品を審査し、9月8日から22日まで笠間公民館にて展示しました。

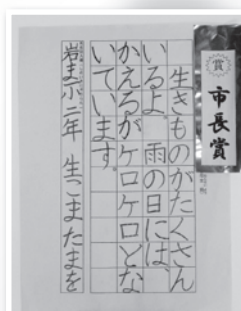
各部門ごとに市長賞の作品をご紹介します。



親子共同作品の部（立体作品の部）
田所 真綾・田所 美咲



絵画の部
佐藤 瞭成



硬筆の部
生駒 たまを



毛筆の部
藤井 凌平

氏名 学年
子ども会名

書写の部（毛筆の部）

笠間市長賞

藤井 凌平 5年 青空

笠間市教育委員会教育長賞

柴沼 明音 3年 上押辺

笠間市子連会長賞

永井 千智 6年 大古沢

優秀賞

矢島 咲 3年 中みつわ

平沢 櫻 4年 日吉町

入江 和樹 4年 土師町

菅谷 聖 5年 吉岡二区

神龍 聖 5年 吉岡二区

小沼 あい 6年 中下村

吉沼 さゆり 6年 中下村

書写の部（硬筆の部）

笠間市長賞

生駒 たまを 2年 日吉町

笠間市教育委員会教育長賞

箱田 結香 1年 日吉町

笠間市子連会長賞

丹家 彩花 2年 下押辺

優秀賞

勝村 月輝 1年 上押辺

山蔭 遥 1年 日吉町

金成 優衣 2年 湯新渡

本川 ずな 2年 湯新渡

絵画の部

笠間市長賞

佐藤 瞭成 3年 ひかり

笠間市教育委員会教育長賞

大木 真美 6年 末広

笠間市子連会長賞

前島 萌花 2年 旭崎

優秀賞

滝田 夏希 1年 柏光

高瀬 悠 1年 上押辺

丹家 真綾 2年 吉岡二区

石塚 名織 2年 下押辺

丹家 佳奈子 5年 本戸第一

親子共同作品の部（立体作品の部）

笠間市長賞

田所 真綾 2年 吉岡二区

田所 美咲 4年 吉岡二区

笠間市教育委員会教育長賞

塩田 結風 2年 旭台

笠間市子連会長賞

酒井 瑞穂 3年 太陽

優秀賞

本間 大空 4年 吉岡二区

前島 萌花 2年 旭崎

前島 彩花 3年 旭崎

友・遊ランド

友部地区

6/10
(日)

「ドッジ交流 ドッジでどっち」

6月10(日)に友部第二小学校体育館において、ドッジボール交流会(練習試合)・審判(チーム審判線審)研修会及び個人記録大会が、子ども会6チーム・個人参加31名・育成会など総勢170名の参加のもと開催されました。

交流試合は、市の大会と同じ12人制で、男女混合6チームリーグで行い、個人参加はクラブチーム・少年団チームの混合チームを作り、模範試合等を行いました。低学年は、個人参加者と子ども会チームの希望者でドッジボールを楽しみました。

た。個人記録大会は、スピードを競うスピードガンのみ行い、各学年男女別に上位の表彰を行いました。

7月の支部の大会に備え、笠間市ドッジボール協会の指導のもと、交流試合や審判研修が熱心に行われました。



岩間地区

6/10
(日)

岩間地区の友遊ランドは、6月10日(日)に岩間第一小学校体育館でチャレンジランキングをおこないました。子ども会16チーム(150名)参加しましたが、もっともっと参加者を増やしたく役員一同がんばりますのでよろしく願います。

種目は、30秒じゃんけん列車・ペア空き缶積み・洗面器お手玉投げ・フリフリパフォー・マンス・ボールリレーの5種目で、どの競技も子どもたちは元気いっぱいでした。

親子の競技やチームで行う競技、個人競技といういろいろです。小学1年生から6年生まで入り交じった競技ですので、学校での同級生同士の競技でないこともチャレンジランキングは、将来の人間関係においても鍛えられるのではないのでしょうか。来年は是非とも育成者の皆様たちが多数参加されるよう望みます。子どもたちといっしょにますます心身ともに向上させましょう。



笠間地区

6/24
(日)

笠間地区「友・遊ランド」は例年どおり「チャレンジランキング」でした。

例年寒い時期に開催していましたが、前回の反省事項で暖かい時期が良いとのことで6月第4日曜日に開催しました。会場は箱田小学校体育館を利用しました。当日飛び入りもあり、子ども45名・保護者24名で総勢69名の参加でした。

「チャレンジランキング」の種目は7種目で、「年少・年長組」「小1・2年生組」「小3・4年生組」「小5・6年生組」の4クラスで得点を競いありました。

今年で3回目の開催でしたが、毎年参加の子どもたちもいて、楽しい一日を過ごすことができました。

年ごとに参加者が増えてきており、参加者も楽しみにしているようなので今後も続けて行きたいと思います。



子どもフェスティバル

北山公園
グラウンド

9/1
(土)

子どもたちが、命の大切さや応急処置の方法を体験することにより、自助共助意識の高揚を図ることを目的としています。

内容は、火災が発生してから消火までを体験するラリー、はしご車の搭乗体験、怪我や大出血の応急手当の方法で、当日はにわか雨もありましたが、会場は子ども達の笑顔と大きな声でいっぱいでした。



バケツリレー



応急手当



はしご車の搭乗体験

子どもの声

消火器がいかに重くて、びつくりしました。

けむりの中では何も見えなくなっちゃうのがこわいと思った。

火事の時や、けが人がいたら、落ちついて行動できるようにしたいです。

育成者の声

消火の方法を学んだのは初めてでしたが、火事の時ほんと恐いのだろうと思うとゾクゾクしました。この体験が、少しでも子どもたちの心に残れば良いと思います。

リーダー研修会及び交流会



群馬県前橋市 国立赤城青少年交流の家

茨城県大好き子ども会リーダー大会

12月22日(土)〜24日(月)

5年 川松 賢巳

最初は知らない人たちといっしょで不安でした。でも、同じ班の人から話をしてくれて、いつの間にか友達になって良かったです。

6年 飯田 結香

私は、この二日間で学んだ事が二つあります。一つ目はあいさつです。あいさつのしかたや気持ちなどを学びました。二つ目は協力することです、オリエンテーションなどで協力する大切さを学びました。

6年 小松崎 優香

とくに夜は、みんなで消という時間まで、自分の学校のことを話したり、いっしょにしりとりなどをして楽しく遊びました。思い出に残る大会にできて良かったです。

笠間市子ども会リーダー研修及び交流会

10月21日(日)

当日は快晴のなか、岩間地区にある愛宕山において、リーダー研修会を開催しました。4、5年生と子ども会役員合わせて34名が集まり、はじめに町田会長のあいさつとKYT訓練(危険予知トレーニング)を行い、例題を基にどのような所に危険が潜んでいるか、グループごとに意見交換を行いました。それから愛宕山ハイキングコースに向かい、南山展望台やパラグライダー飛行基地で、日立方面や筑波山の眺望をしながら2時間のハイキングを楽しみました。スカイロジにおいてバーベキューを行い、焼き肉や焼きそばなどでお腹いっぱいになり、参加者全員が秋の山々に触れ合うひとときを楽しむことが出来ました。



足元をよく見て歩こう!

笠間市子ども会球技大会

第6回

ドッジボール 8/12日

ソフトボール 7/22日

出場チーム

栄子ども会/行幸町子ども会/荒町子ども会/桂町子ども会
つばさ子ども会/光明神子ども会/五葉子ども会/飛龍子ども会
橋爪子ども会/三葉子ども会/南小泉子ども会/末広子ども会
柏井・仁古田子ども会/長兎路・湯崎子ども会/青空子ども会/旭台子ども会



優勝 栄子ども会



準優勝 つばさ子ども会

出場チーム

末広子ども会/飛龍子ども会/柿橋子ども会
大空子ども会/住吉子ども会/柏井・仁古田子ども会
長兎路・湯崎子ども会/太陽子ども会



Aブロック優勝 柿橋子ども会



Bブロック優勝 柏井・仁古田子ども会

茨城県優良子ども会等表彰

平成25年1月19日(土)笠間市立笠間公民館において、茨城県優良子ども会等表彰式が行われました。当日はアトラクションとして、笠間稲荷離子保存会の演奏や(財)合気会茨城支部道場の演技が披露されました。

25団体が優良子ども会として、また16団体が優良子ども会育成会として表彰され、笠間市子ども会連合会からは次の2団体が受賞し、代表して太陽子ども会が謝辞を述べました。

優良子ども会

太陽子ども会(友部二小支部)

スポーツ活動や資源ごみ回収などの各種行事や地域との交流を通して、協調性や自主性、積極性を学ぶとともに、地域の美化や地域づくり、資源の大切さとリサイクルの重要性を学んでいる。

優良子ども育成会

旭台子ども育成会(友部二小支部)

廃品回収の協力や三世代ふれあいの集いを行い、地域の方とふれあう機会を設けている。また、学校と協力し、子どもの安全・安心な登下校を目的として立哨当番を実施したり、地域の花壇の水やりや草取り等、地域とも連携・協力を行っている。



子ども会育成連合会事業・子ども会 アンケート 結果

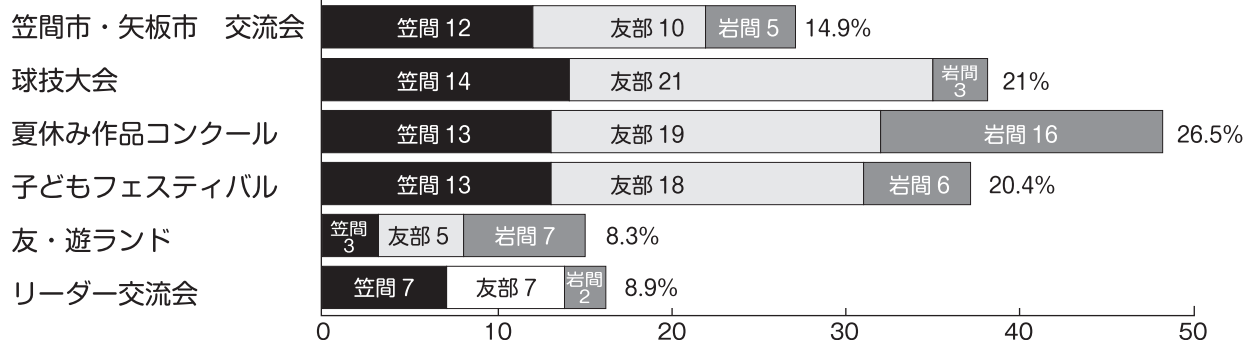
平成 24 年度は、企画育成指導委員会を組織して、現在の子ども会の状況や今後の連合会事業の検討を行うために、子ども会育成会代表者の皆さんにアンケート調査を行いました。そのアンケートの主な内容について報告します。

平成 24 年 12 月まとめ

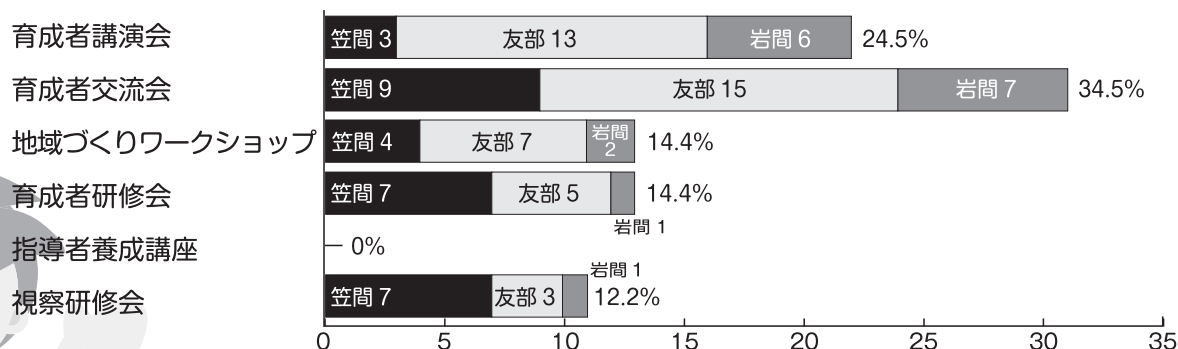
アンケート回収結果 笠間 33/65 50.8% 友部 46/68 67.7% 岩間 20/39 51.3% 合計 99/172 57.6%

1. 子ども会育成連合会について

①現在の子ども会育成連合会の事業で必要（重要）な事業はどれですか。※複数回答可



②次の事業のうち育成者（親）が参加したい事業はどれですか。※複数回答可



2. あなたの子ども会について

子ども会ではどのような事業を行っていますか。※複数回答可

事業名	笠間	友部	岩間	合計	割合(%)
歓送迎会	19	33	16	68	23.3
ハイキング	1	0	0	1	0.3
夏祭り(御輿等)	15	24	11	50	17.2
レクリエーション	26	37	18	81	27.8
クリスマス会	9	25	13	47	16.2
花壇づくり	2	11	2	15	5.2
連合会行事参加	10	14	5	29	10.0
合計	82	144	65	291	100.0

その他

①資源ごみ回収 19 団体

②夏休みラジオ体操 11 団体

③夏休みプール 4 団体

④三世代交流会等 5 団体

どんと焼き 2 団体、地区運動会、イルミネーション、笠間のまつり参加、書初め展、食事会、

田植え・稲の観察・稲刈り、太鼓練習、盆踊り、神社祭礼、天狗まつり、ソフトバレー 各 1 団体

3. あなたの子ども会の運営について

①今の子ども会規模で運営（行事・事業等）は十分に行えますか。

事業名	笠間	友部	岩間	合計	割合(%)
ア 運営は行える	14	17	7	38	38.8
イ 運営はまあまあ行える	11	15	10	36	36.7
ウ 運営は少し難しい	5	7	3	15	15.3
エ 運営は難しい	3	6	0	9	9.2
合計	33	45	20	98	100.0

②上記①でア・イに回答した方。将来、子ども会の運営は、難しくなると感じていますか。

事業名	笠間	友部	岩間	合計	割合(%)
難しくならない	3	6	2	11	14.1
5年以内に難しくなる	8	17	8	33	42.3
10年以内に難しくなる	11	9	7	27	34.6
15年以内に難しくなる	3	2	1	6	7.7
20年以内に難しくなる	0	0	1	1	1.3
合計	25	34	19	78	100.0

③上記①でウ・エに回答した方。運営を改善するにはどのような手段がありますか。

事業名	笠間	友部	岩間	合計	割合(%)
隣接子ども会との連携・協力	2	7	3	12	24.5
隣接子ども会との合併	11	8	3	22	44.9
小学校区での一本化	3	1	4	8	16.3
その他	2	5	0	7	14.3
合計	18	21	10	49	100.0

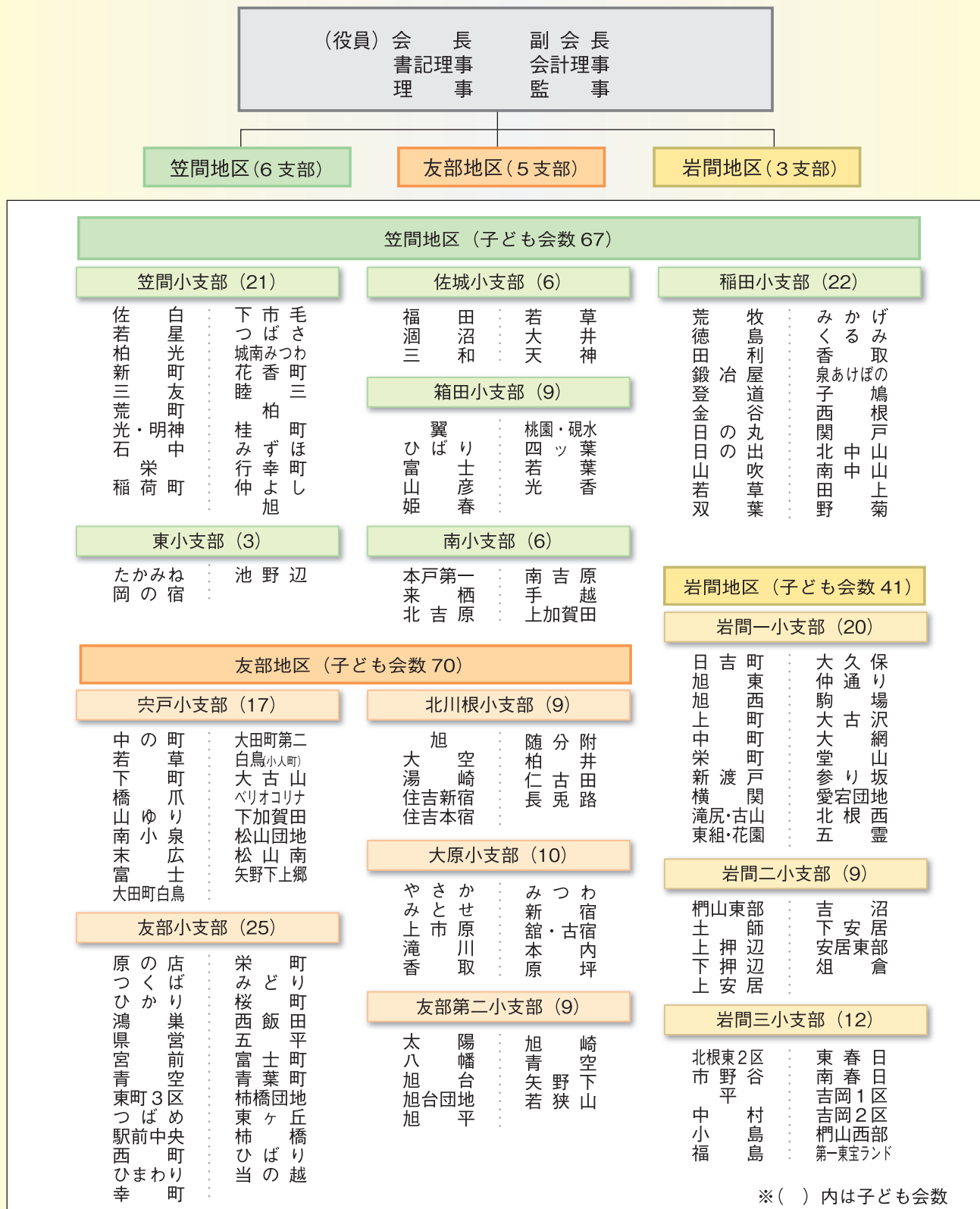
4. 主な意見

- ・子どもたちが減っている現状の中で2つの球技を行うのに限界がきている様に思われます。
- ・いかに親子を子ども会活動に参加させていくか。
- ・要は役員のやる気次第でどうにもでまなうと思う。
- ・連合会による子ども会合併協議があっても良いかと思います。（その時期にきていると・・・）
- ・活性化を図るのであれば、根本からの見直しが必要と感じます。

【アンケート結果を踏まえて】

今後、子ども会育成連合会では特別委員会設置規則に基づき「子ども会のあり方検討委員会」を組織して、子ども会の現在の状況を調査し、子ども会規模や運営について検討を行っていきます。

笠間市子ども会育成連合会組織図



※()内は子ども会数

子ども会安全会に入ろう！

◆全国子ども会安全会

全国子ども会安全会とは、子ども会活動中に生じた負傷・疾病・後遺障害または死亡した場合に、安全会加入者に対し共済見舞金が支給されます。

また、子ども会活動中に、安全会加入者以外の第三者の身体または財物に損害を与えた場合、第三者に保険金が支払われます。

○加入資格

単位子ども会に所属する就学前3年の幼児(ただし、保護者も安全会加入者であること)から育成者・指導者の方まで加入できます。年齢の上限はありません。

○会費

1人あたり年額140円

※「事故」が発生した場合は、速やかに単位子ども会会長へ連絡をしてください。

